

号外

18.6.27

大阪教組ニュース

発行所=大阪府教職員組合
(日教組)／〒543-0021大阪市
天王寺区東高津町7-11大阪
府教育会館4階412号／TEL
06-6765-1558 FAX06-6765-
1268／発行責任者=石田精三
／編集責任者=韓秀根

2019年度版
比較・検討
「特別の教科 道徳」
(中学校1年生)
の教科書 ②

よりましな教科書の採択を！

〈1年生の各教科書の比較〉 ○評価できる ▲気になる点あり ・取り扱い次第 ゴシックは単元名 ※文中の言葉「手引き」は教材のあとにある問いなど、「コラム」は関連する補助教材や資料など、教材名の前の数字は目次の番号

		日本教科書（日本）	光村図書（光村）	学研教育みらい（学研）	廣済堂あかつき（あかつき）	日本文教出版（日文）	東京書籍（東書）	教育出版（教出）	学校図書（学図）
A	権利条約						・3選手に選ばれて権利と義務の間で揺れる心を表現。両方の視点の意見が書かれている。		
	きまり・ルール		○14言葉の向こうに コラムでネットの悪口を書き込まれた場合についての具体的な対応を考える。		▲3裏庭でのできごと 他社に比べて、本番が結末まで書かれている。				▲23淳の住む町（コラム） 「…保障される権利と…果たすべき義務」。権利の保障より「法やきまりを守らなかつたら刑罰や償い…公德心をつちかい…」の方を強調。
	憲法・法律	▲1銀色のシャープペンシル 「心の弱さ」をオリオン座の輝きに動かされ、謝りに行く。事の展開が不可解。 ▲コラム 曲がり角 「起床時間」「整理整頓」「無駄遣い」「清掃」のような内容についてチェックさせている。 ▲7おはよう 教材が古い。「心の真実が、そのまま身の構えになり、声になったものこそほんとうのあいさつ」と記述。ことさらあいさつの大切さを強調。	○10魚の涙 コラムで悪ふざけている場面について直接注意する以外にどんなことができるか考える。 ▲26銀色のシャープペンシル 「心の弱さ」をオリオン座の輝きに動かされ、謝りに行く。事の展開が不可解。		▲26銀色のシャープペンシル 「心の弱さ」をオリオン座の輝きに動かされ、謝りに行く。事の展開が不可解。	○18公平と不公平 考える材料を与え、議論を促している	▲7銀色のシャープペンシル 「心の弱さ」をオリオン座の輝きに動かされ、謝りに行く。事の展開が不可解。 ・2朝市の「おはようございます」 内容が理解しにくい。「なぜ、あいさつは大切なのだろう」と、ことさらあいさつの大切さを強調。	▲2おはよう 先生にあいさつに欠いたことが非であると表現。	▲31銀色のシャープペンシル 「心の弱さ」をオリオン座の輝きに動かされ、謝りに行く。事の展開が不可解。
B	差別	▲6二枚のチケット ▲6朝の地下鉄 どちらの教材も視覚しょうがい者と電車で会ったときの話。ともに育つというよりは、出会ったときには親切にすべきという教材。 ○11永久欠番42 人種差別についてとりあげている。 ・22レーナ・マリアの挑戦 しょうがいのあるレーナが擲擲される場面。周囲の反応について記述がない。 ▲ネパールのビール ぜいたく品（ビール）を子どもに買いに行かせるという設定に疑問。	○7私の話を聞いてね 一人ひとりみんな違う。違っていることは悪いことや見下されるものではない。コラムでユニバーサルデザインを紹介。 ○15父の言葉 松葉づえの子が気になりつつも避けてしまう私に、直接話すことを父にアドバイスされる。 ○17やっぱり樹里は おかしいことをおかしいという樹里を「面倒」「生意気」と思っていたが、お店で外国人の店員に対するクレームを外国人とか日本人とかではなく誰にでもあることと伝える姿にかっこいいと思う。	▲19たとえ僕に明日がなくとも しょうがい者を「素晴らしい人」「きれいな心を失わずにいる人」と一面的に表現。 ▲ネパールのビール ぜいたく品（ビール）を子どもに買いに行かせるという設定に疑問。	○25ある日のバターボックス 「ともに生きる」ということに子どもたちが自然に気づく姿を描いている。 ・30終わりなき挑戦～成田真由美～ 負けずにがんばるしょうがい者。 ○35二枚の写真 「ともに生きる」子どもたちの姿が描かれている。			○17ショートパンツ初挑戦 偏見を乗り越え、自分らしさを表現する。 ・31夢への挑戦「バラカヌー」 明るくがんばるしょうがい者。	
	戦争		○なんだろうなんだろう 正義について色々な視点が書かれている。			○11花火に込めた平和への願い 真珠湾攻撃のホノルルと長岡市の「中学生ホノルル訪問事業の中で、加害・被害について考える		・33受け継がれる博愛の精神～ロシア兵墓地の清掃～ 戦争についての記述がほとんどなく、子どもたちの行いが美化されている。	・30大人たちの都合で無数の子どもの命が時代背景が曖昧。文中の「昨年」は1980年代だが注釈なし。 日本人としての自覚を持つとともに、他国を尊重する（コラム）も日本人として…外国籍の子どもは？

		日本教科書（日本）	光村図書（光村）	学研教育みらい（学研）	廣済堂あかつき（あかつき）	日本文教出版（日文）	東京書籍（東書）	教育出版（教出）	学校図書（学図）
B 平和・人権	L G B T								
		▲8リョウとマキ～First Love～ 女子、男子とひとくくりに表現。 ▲8いつもいっしょに ▲11グループ ▲12プロレスごっこ 上記3つの教材とも友達とのトラブル＝女子グループという構図、男子グループ＝暴力でいじめるという固定観念。 ▲18大地－八田與一の夢 国際理解・国際貢献についての教材だが、当時、台湾は日本の統治下。手引きで「世界平和のために日本人としてできることを考えてみましょう」と表現。	○31親友 男の子があみものをするこ と、女の子がサッカーを すること、沢山のから かいがある中、男と か女とか関係なく自分 らしく生きる親友につ いて。 ○24異文化の人々と共 に生きる 価値観の違いにつ いて。意見の異なる ときにどうすればい いか、色々方法を提 示しながら意見の違 いを前向きに捉えて いる。	▲心に響く言葉（コラム） 文章の一部を切りと っているので、正しく 伝わらない。 ▲いのちより大切な もの（コラム） あなたには、「いのち」 より大切なものはあ るだろうか。それは なんだろうかという 答えにくい問。		○19違いを乗り越えて インドネシアと日本 の文化の違い。それ を認め合うことが大 切。 ○32役に立つことが できるかな 電車の中であつたし ょうがいのある子ど もに対する先生のま なざし、周りの人の理 解が必要と説く姉の ことば。	○26日本から来たお ばさん インドネシアの栄養 事情の改善にとりく む。その地の文化を 尊重することが大切。		・1誰も知らない 支援学校に通う子ど もの楽しみを描く。 インクルーシブの視 点はない。 ・35卒業文集最後 の二行 他の出版の文とは違 い、後悔と反省の気 持ちを表現
C 伝統・家族	日本観	▲17環境先進国江戸 江戸は国ではない。江 戸時代の一部分を過 大評価。 ▲20ニッポニア・ニ ッポン 手引きで「私たち日 本人は、どうして（中 略）トキが自由に飛 び回る日を夢見るの でしょうか？」と日 本人全体の夢のよう に表現。		▲13真の国際人 嘉 納治五郎 日章旗を先頭に堂々 と入場という記述。		・21富士山から変 えていく 富士山がごみで汚 れていることを外国 人から指摘され、富 士山清掃にとりく む。		▲22幸せな仕事 って紹介する仕事 が、寿司屋と和菓子 屋で、偏っている。	▲2言葉の壁は「日 本舞踊」で乗り越 えた日本人として日 本文化に親しむべ き。自覚を持って国 を愛し、伝統を継承 し、文化を創造する （コラム）も日本 人として…と表現。 外国籍の子どもの 文化は？
	家族観	▲14形見 手引きで、父と子の 詩を読んだ後「将来 自分が築きたい家 庭をイメージして みましょう」と問 う。		▲2あなたに 母の愛の話。様々 な家庭環境の子ど もに配慮すべき。	・4あなたはす ごい力で生まれて きた 母親のことばが多 く、子どもたちの 家庭環境に配慮す る必要あり。	・8あなたはす ごい力で生まれて きた 母親のことばが多 く、子どもたちの 家庭環境に配慮す る必要あり。	▲14母はおい しいれ 家族の問題を、家 庭内（母）だけ で解決しようとし ている。	▲9ごめんね、お ばあちゃん 介護の問題など 家族で困った時 には家族の思い やりや協力で解 決する。	▲6君が生まれた 日 家族を敬愛し、家 族の一員としての 自覚をもって（コ ラム）で、「あなた は…新しい家族を 築き、…子ども・ 孫を持ち…」が 当然のように書 かれている。
						・3人のフリ みて ・4「愛情貯金」 をはじめま せんか 上記の2つの教 材ともに「あ りがとう」「あい さつ」など礼儀 の推進。「顔の 筋肉をほぐそう」 「上の歯が6本 以上見えるよう に」など記載 ○怒りの感情と 上手につき合 おう 人間関係をス ムーズにするた めのワークを紹 介。	・13決断！骨髄 バンク移植第一 号 心の葛藤を表現 しているが、結 局「移植するこ とがいいことだ」 という一方的な 見方しかしてお らず、多様な意 見が出にくい。		▲10うちわと涙 人間愛の精神と 思いやりの心、感 謝する心（コラ ム）で、「思いや り」と「感謝」に ついて観念的な 説教 ・32生き続け る遺産 深良用 水 郷土の文化・歴 史の学習は必要 だが、この教材 の視点は、施行 者のみで、地域 の人々にはない。
気になること		▲2命をつくるもの 「生命力に対する 手応えを具体的に 考えられること、 それが食」など 独特の言い回し で食、体、命につ いて記述し、わか りにくい。 ▲3オレは最強だ！ 精神面での強さを 強調しすぎ。 ▲4志 ころざし～ 幼少の記憶より～ 手引きの「何のた めに陸上を頑張 ると思うか」とい う問いは、教材か らは読みとれない。 ▲5金星探査機「あ かつき」の挑戦 手引きの「あかつ きには、どのような 思い（夢）がこめ られているのしょ うか」と問いかけ るが、教材からは 読みとれない。 ○15希望の風に 集団の一員として というような価値 観をことさら強調 していない。 ・16雄司の自慢 「栄養士の先生」 と表現。		▲敬称（君、さん） を使っている教材 が多い。	▲2目標は小刻みに 題名にも、本文の 最後にも結論を記 述しているため、 多様な意見が出 にくい。 ・31よみがえった 良心 話が長く、わか りにくい。			▲スポーツに関する 教材が多い。	▲文部省時代の読 み物教材が多い。 ▲18合唱コンク ール コラムで「…皆さ んに向き合っ てくださる先生 …」先生に限定。 学校には多様な 方が存在。 ・25自然教室 でのできごと 友だちと夜更かし し、頂上まで登れ なかった僕が反省 し、生活習慣を見 直す。そんなに 簡単なものか。 ▲教材のあとに あるコラム「心の 罪」が観念的で、 教条的。子ども たちへ考える材 料を提供、とい うよりも、特定 の価値観を押し つけるものにな っている。